

事務連絡  
平成24年12月26日

地連会長 各位

公益財団法人全日本弓道連盟(印略)

### 安全管理・事故防止の徹底について（お願い）

標記のこと、本年12月以降、高等学校における部活動中の事故が相次いで発生しています。幸い重大な事故には至っておりませんが、いずれも通常の危険防止措置を施しているにも関わらず発生した事故でした。

各地連におかれては種々の対策をされていることとは存じますが、より一層の安全管理体制の確立・危険防止にご留意の上、事故防止の徹底をお図りいただき、弓道関係者各位へご周知いただきますようお願い申し上げます。

#### 記

静岡県浜松市内の高校での事故 / 平成24年12月1日  
長野県上田市内の高校での事故 / 平成24年12月23日  
詳細は、別紙写しをご覧ください。

以上

本件の問い合わせ先  
全弓連事務局 担当：原田・浅見  
TEL03-3481-2387 FAX03-3481-2398  
E-mail kanri3@kyudo.jp

# 弓道の矢刺さりけが

## 浜松市立高軌道それ部員の頭に

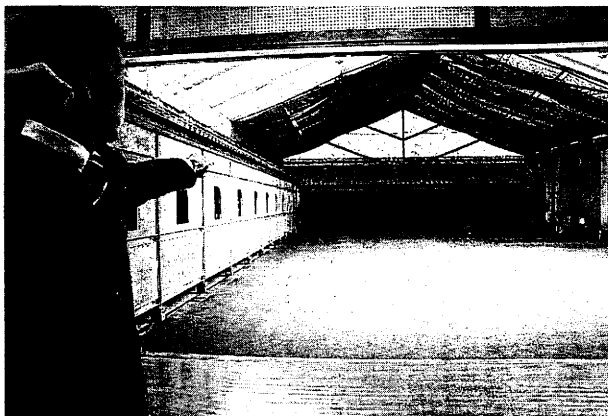
浜松市立高(同市中区)の弓道場で1日午後4時ごろ、弓道部の練習中に2年の男子部員(17)が放った矢が、1年の女子部員(16)の頭に刺さる事故があった。同高などによると、

女子生徒は市内の病院に運ばれたが、意識ははっきりして歩いて歩くこともでき、命に別条はないという。浜松中央署が原因を調べている。

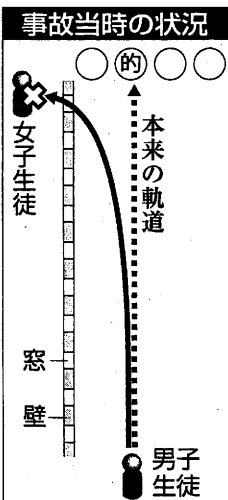
現場にいた弓道部顧問の駒月茂教諭によると、当時は1、2年生

48人が練習中だった。女子生徒は的に当たったか否かを確認する「看的」担当で、的から2、3メートル離れた通路に立っていた。的と通路の間には壁が設置されているが、10力所に

窓(縦70センチ、横60センチ)があり窓は開いていた。男子生徒が放った矢が射場から最も遠い、女子生徒がいた窓から通路側に入り、生徒に当たったとみられる。



生徒が矢を放った位置から見た弓道場。左側の壁の一番遠くの窓から矢が出たとみられる＝浜松市中区の浜松市立高弓道場



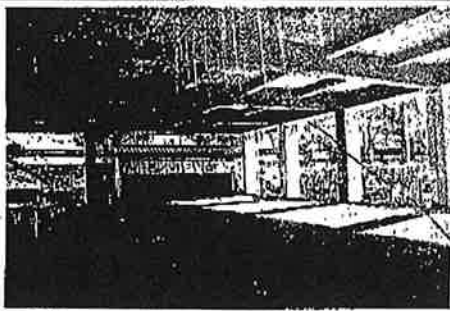
射場からの場までは

28センチ。壁の窓は的に当たったかどうかを音で確認するため通常、開放している。矢を放った男子生徒は「右手の(グローブに付いた)ツメが弦(つる)に引っかけられなかったので、左手が左に触れて(矢に変化が掛かって)しまった」と話しているという。

平常時、全部員で1カ月約3万本の矢を射るが「通路側に飛んでいくことはほとんどなく、角度があるので相当曲がらないと窓には入らない」と駒月教諭。川島慎二教頭は「想定しにくいケースとはいえ、対策が100%ではなかったということ」とし、窓に網を張ったり、看的役を通路に置かないなどの再発防止策を取るとした。

### 防護ネット上部 矢が通り抜ける

上田高(上田市大手)の  
上田高弓道部



弓道場で23日に女子生徒に矢  
が当たり、軽傷を負った事故

### 上田高で生徒に 弓道の矢当たる

部活中耳の下縫うけが

23日午後5時ごろ、上田市  
大手の上田高校から「女子生  
徒」に弓道の矢が当たったと

11の普通科があった。上田  
広域消防本部の救急隊員が駆  
け付けたが、軽傷だったため  
救急搬送はしなかった。同校  
によると、女子生徒はその後、  
市内の病院で手当を受けて、  
耳の下を縫ったという。  
同校の宮坂栄治教頭によると

上田高の弓道場に張り付いた  
防護ネット。天井との間に隙  
間がある

で、矢は防護ネットと天井の  
隙間を抜けたとみられる。こ  
が24日、同校への取材で分か  
った。けがをしたのは同校弓  
道部の2年の女子生徒(17)。  
同校は弓道部の活動を休止  
して安全対策を検討するとし  
ている。

同校によると、弓道場は体  
育館の建物一階部分にあり、  
全体を囲む壁はないが天井が  
ある。事故当時弓道部の2  
年生女子計2人が練習して  
いた。午後の練習は、1年生  
16人が射撃のしやめ時に向かっ  
て最も左の場所から放った矢  
が、左前方約20分の防護ネッ  
トの外にいた2年生に当たっ  
た。この生徒は右耳下の首筋  
近くに軽傷を負った。  
射場の前面には防箭用の透  
明シートが張っており、5カ  
所に開けたそれぞれ約60センチ  
四方の穴からの射を遮る仕組み。  
1年生が放った矢は穴の縁に  
触れて軌道がずれ、防護ネッ  
トと天井の間にある数十センチの  
隙間を抜けて落ち、2年生に  
当たったとみられている。  
同校の宮坂栄治教頭は「こ  
うした事故は今までもなかつ  
た。万全の対策を講じて班活  
動を再開させた」とコメントす  
る。

**信濃毎日新聞**

1873年(明治6年)創刊  
発行所  
信濃毎日新聞社  
長野本社 〒383-8546  
長野市東原町 857番地  
電話(026)  
宮内 236-3000 編集 236-3111  
販売 236-9310 印刷 236-9399  
松本本社 〒389-8711  
松本市三田 2番10号  
電話(0263) 編集 26-2161  
販売・広告・印刷 26-2163  
©信濃毎日新聞社2012年